

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（176）」

2. 日時：令和5年11月29日(水) 10時00分～11時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、谷主任安全審査官、道口主任技術研究調査官、山下技術研究調査官、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他7名

（このうち1名はテレビ会議システムによる出席）

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年11月22日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波・地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）（水位下降側に係るコメント回答）
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答（日本海東縁部に想定される地震に伴う津波・地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ）（補足説明資料）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁谷です。
0:00:04	それではヒアリングを始めたいと思います。
0:00:06	今日のヒアリングの案件としては、泊発電所 3 号炉基準津波に関するコメント回答ということで、
0:00:13	組み合わせの下降側に関するコメント回答ということで、
0:00:19	11 月の 22 日の資料ですね、これを用いて行いたいと思いますのでよろしくお願いますまず資料の説明の方からお願いします。
0:00:29	北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくお願いいたします。
0:00:34	今ほどあった通り、基準津波に関するコメント回答ということで、SE 下降側に関わる部分、ご説明させていただきます。説明はオオキからで、
0:00:44	10 分程度で説明したいと思いますよろしくお願いいたします。
0:00:49	北海道電力の青木です。
0:00:52	私の方から説明させていただきます。
0:00:54	前回 11 月 15 日に加古川のヒアリングを一度させていただきました、そこから修正かけたものになりますので、前回からの差分というところで大きな変更点についてご説明させて
0:01:07	また資料については本編資料と補足資料の 2 種類を
0:01:10	見まして、あと補足資料については、
0:01:13	変更点ございませんので本編資料の方で説明させていただき、
0:01:18	早速ですがページの方、32 ページから、
0:01:31	当 32 ページでは、加古川の評価のうち、日本海島縁部の結果についてまとめたもので、そのうちパラメータスタディの評価因子の影響分析について説明したページになって
0:01:43	こちらの中央の表にパラメータスタディの評価因子と、その変動幅の一覧をまとめた表を記載してご
0:01:50	でその一番右下のところに赤枠囲みで記載させていただいてございますが、この詳細パラメータスタディの波源位置と断層面上縁深さについてはその平均値
0:02:02	の順番が 13 秒と 92 秒というところで、逆の順番になっているというところも踏まえまして、その詳細を 34 ページ 35 ページでほそ
0:02:13	追記したものが 34 ページをお願い
0:02:21	等 34 ページでは詳細パラメータスタディの検討順序の妥当性について補足した資料になっており、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:28	左上のテキストボックスですが、詳細パラメータスタディの因子でありまず波源位置と上映深さについてはこれらの変動によって、水位時刻歴は県に大きな影響を与えないと。
0:02:39	いうところから、この検討順序によって波源の選定結果に影響を及ぼさないものと考えており
0:02:45	ですが一方、この貯留堰を下回る時間の変動は
0:02:48	右の表で書いたもの
0:02:50	についてはステップ 3 の変動幅が平均値 13、
0:02:54	であるのに対して上縁、
0:02:56	変動幅。
0:02:57	不安の平均値が 92 秒というところで、ステップ 3 よりステップ 4 の方が大きくなっているというところからこの検討順序について整理
0:03:05	ところを最初に
0:03:06	セトしており
0:03:08	また中央の表のところ、四つの地形モデルに対する波源位置と断層面上
0:03:14	に関して、変動幅の算出の根拠になります。
0:03:18	現位置
0:03:19	をした場合の貯留堰を下回る時間の関係
0:03:22	のグラフを
0:03:24	このうち、詳細パラメータスタディの因子として、防波堤の損傷高齢者地形モデル③、
0:03:31	の断層面上縁深さの変動幅が 278 秒
0:03:36	ほかのものと比べ、
0:03:37	変動幅が大きいというところがありますのでこれについて、処理セキを下回る時間が最小値最大値となる上縁深さの 0 期
0:03:46	条約笠野 0 キロに
0:03:48	敬語比較。
0:03:51	こちら黄色ハッチングかけたところのグラフを見ていきますと、
0:03:54	上縁深さ 2 キロにした場合には、処理でき下回る時間が 608
0:03:59	0 キロ上や深さを 0 キロにした場合には 400、
0:04:02	というところでちょっと段ずれが生じてるような所
0:04:05	でこれらの 8Kを対象に各
0:04:08	どこになる。
0:04:10	その比較の結果から、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:12	0 キロのは形を見ますと、処理時期を下回る時間 408 秒になってるものに対してその右側のところで、
0:04:19	短周期の下側に凸、
0:04:21	けが処理セキの天端高さを下回らない
0:04:24	ところが各
0:04:25	でもいい。
0:04:26	その結果この短周期の波が下回らないので長井関
0:04:30	が 400
0:04:32	床で比較的
0:04:33	近いなんて
0:04:35	一方上縁深さ 2 キロの方の発見を見ますと、この短周期の波が、正直、
0:04:40	マイナス 4 メーターを下回っておりますので、この下もある時間も長く、
0:04:45	そういった状況になっ
0:04:47	て結論ですが、この短周期の波が下回るか下回らないかの違いによって貯留堰を下回る時間が大きく変化するところを書く。
0:04:57	また、今回黄色のハッチングのところを整理したもの
0:05:00	が、オレンジ色の、
0:05:02	防波堤の損傷を考慮した地形モデル②についても、
0:05:05	上縁深さ 0 キロから 2 キロと、3 キロか
0:05:08	というところで少し段ずれ
0:05:10	わかりづらいですけど知っているような状況が見受けられましたので 35 ページ側の方で、
0:05:16	マツオして
0:05:18	同 35 ページの方では、真崎の
0:05:22	上流と同じようにグループ 1 とグループ 2 というところで、上縁深さ 0 から 2 と 3 から 5 に分けては形を比較して、
0:05:32	この系統については先ほどと同じでして、短周期の波が下回るか下回らないか。
0:05:37	よってこの緒履歴を下回る時間が長くなるか。
0:05:41	近いかっていうところの違いがは
0:05:45	これを踏まえまして、矢印 1 社側の
0:05:48	下段の敵
0:05:49	ですが、
0:05:50	詳細パラメータスタディの検討順序

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:53	なり、
0:05:54	この貯留堰を下回る時間の変動幅っていうものは、この短周期の波が、
0:05:59	ヨリキの天端高さ-4メートルを下回るか下回らないかの違いによって、この距離セキを下回る時間が大きく変化。
0:06:06	しておりますのでその変動幅にばらつきが生じている
0:06:09	ところになり、
0:06:11	そこで評価値が大きくなる波源を選定する観点
0:06:14	というところで、この短周期の波が現場を下回らない範囲
0:06:18	を除いて整理をして大井
0:06:21	の整理結果は左下の、
0:06:23	表になっておまして、
0:06:25	下回らない萩尾除いた場合には、この変動幅を算出し直した場合にはステップ3の
0:06:31	ニワ13
0:06:33	別表の断層面上お客様変動幅が11
0:06:36	というところで、検討順序としては、ステップ3ステップ4の順に流れる
0:06:40	ところで、
0:06:42	いうふうに考えており、
0:06:45	これ、これに関する説明は以上でして、また別の観点で40ページをお願いいたし
0:06:57	等40ページではと組み合わせの評価結果加古川に関する組み合わせ評価結果の一覧を40ページ41ページで掲載しております
0:07:06	この加古川の対象とするケースについては、前回の、
0:07:11	10月20日の審査会合で説明した上昇側の評価も踏まえて組み合わせの対象にしておまして、プロセスというところの、どういう波源を対象にしたのかが見えづらいと。
0:07:23	いうところがありましたので、この表中の、
0:07:25	左から二つ目の、
0:07:27	別になるんですが参考というところで、どのような波源の位置付けかっというところを書いており、
0:07:33	下降側については、水位下降側、下降量の最大ケースか貯留堰を下回る時間の最大
0:07:39	のどういう位置付けかというところを記載し、
0:07:42	また組み合わせ評価については、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:45	地震津波に歯のヒガシ移動を対象にしたものか、地震津波一般の西井戸を対象に
0:07:51	っていうところをわかるようにしており
0:07:54	またB-1の地震津波の最大ケースについてはケース1ケース、
0:07:59	B-2については、どのケースの波源位置
0:08:02	ところになっ
0:08:03	て、記載だけだとわからないんですけれど。
0:08:06	次の42ページ43ページでその内訳がわかるようにしており
0:08:14	例えば42ページのところでは、の組み合わせ評価について記載しており、
0:08:20	Aの組み合わせ評価については、前回の会合で説明したところになるんですが、まずピークが重なる波源を特定した上で、Cが高くなる波源を、
0:08:30	選定して、それを対象に組み合わせ評価をやっており、
0:08:34	その過程で出てきた組み合わせ評価の対象ケースというのが、下側のところで書いております。
0:08:40	六つの赤枠で囲った波源を組み合わせ評価の対象にしており
0:08:46	愛媛大地震津波にアノヒガシドイについては、都産反映、地震津波一般のニシダについては3波源
0:08:53	ところで、合計6の波源を加古川の組み合わせ評価の対象にして、
0:08:58	所西
0:08:59	でまた右下のところで、一部の例なんですけど、健全地、
0:09:03	防波堤損傷の丸三地形モデル。
0:09:05	これに挙げますと、六つの波源を対象に、
0:09:10	ところのプロセスをわかるようにして、
0:09:13	またの組み合わせ評価については、地形モデルや評価コウも
0:09:17	NEIMA共通の波源を
0:09:18	他の対処
0:09:20	ところになる
0:09:23	等、続いて43ページをお願い
0:09:27	こちらでは、10月20日の会合におけるB-1の上昇側の評価とB-2の
0:09:34	評価の検討対象波源をまとめたものになって
0:09:39	B-1については、
0:09:41	地震津波の最大ケースを対象にしておりますので、防潮で前面放水コウと健全地形モデル

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:48	さん。
0:09:48	健全地形モデルから防波堤参照③の4掛け4のマトリックスの最大径
0:09:53	を対象に組み合わせ評価をやっており
0:09:56	ここで防波堤損傷の③を例にしますと、一番右側に書いております赤枠のところの、ケース14からケース17という波源を対象に、
0:10:07	損傷③の組み合わせ評価をやっ。
0:10:10	ところになって、
0:10:12	またB-2、
0:10:13	地震津波の最大ケースの位相変動高齢者
0:10:18	についても同様になっておりまして、こちらでは、
0:10:21	地形モデルごとに、
0:10:24	ピークの水位が高い波源を選んで、その東西方向位置や矩形くの字を変化させた検討をやっておりましてそのケースを選んで
0:10:33	こちらも地形モデルごとに組み合わせ評価の対象波源異なりますので、
0:10:37	③の地形モデルですと、三つの波源を対象に、
0:10:42	組み合わせ評価をやっているところになる
0:10:45	加古川についても同様に、同じような波源で検討
0:10:48	ところにして、
0:10:52	上昇側の評価についてプロセスをもう少しわかりやすくした
0:10:57	ところがあって、
0:10:59	続いての修正事項というところで、
0:11:02	47ページ
0:11:11	等、47ページについては、処理セキを下回る時間の最大ケースを、どうやって妥当かっていうところを書く。
0:11:18	方針に書かれて
0:11:21	大きいところとして朱書きの、
0:11:25	貯留堰を下回る時間の最大ケースに対して一層の変動を考慮する必要がない。
0:11:30	と青書きで書いております波源センター。
0:11:32	二つで書いており、
0:11:34	手話機能、磯変動を考慮する必要がないとする根拠については、
0:11:39	前回の資料ですと、単純に加古川の波と波が重なると、というような記載にしておりましたが、
0:11:44	どこで重なるかっていうところをもう少し明確化したものになる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:48	具体的には、
0:11:50	地震津波の上昇側の第 2 は加古川に転じる
0:11:54	上昇側の第 4 版に向け上昇側に転じ、
0:11:57	において、
0:11:58	これアノかコガの波が重なって処理でき下回る時間が長く、
0:12:03	所書
0:12:05	言葉だとわかりづらいんですけど右側のグラフ見ていただくと、上昇側の 2 は、から、
0:12:11	加古川に転じ
0:12:12	0 黒須。
0:12:14	藤。上昇側の 4 羽から見ると、
0:12:17	手前の時間というところで、上ショウガンイセ
0:12:20	オノ 0 黒須。
0:12:22	この付近で仮コガの
0:12:24	てるっていうところを、メーカー
0:12:26	何名
0:12:29	等、続いて、アオキで書いております波源選定の妥当性、
0:12:33	ところについて
0:12:35	等、一つ目の矢羽根については大きな変更ござい
0:12:38	二つ目の矢羽根というところで、
0:12:41	貯留堰を下回る時間の上限値
0:12:44	というものについては、波源によらず同程度
0:12:47	であると考えておりまして、この貯留時期を下回る時間の最大ケースとして、上限値に近い波源が選定でき
0:12:54	ところを確認することでは厳正
0:12:57	という方針にしておい
0:12:59	この上限値の考え方は前回同様なんですけど、
0:13:03	この位置付けっていうところで※3 で書いておりましてこの上限値っていうのは、
0:13:07	ポンプの取水可能時間 7680 秒と比較すると、上限値自体が短いので、波源によらず同程度に見なせると考えており、
0:13:17	その根拠に該当するところというところで 50 ページと 51 ページで資料を
0:13:26	50 ページをお願いいたし
0:13:30	等、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:31	左上のテキストボックスでセガワ地形モデルや波源ごとの組み合わせ評価における貯留堰を下回る時間の上限値
0:13:38	こちらの算出方法については、真崎と同様になっておりましてその上限値について、
0:13:43	その上限値の平均値と標準偏差を算出するとともに、
0:13:47	貯留堰を下回る時間とその相関を確認
0:13:52	また、表が四つ並んでおりまして、こっち系モデルごとに四つ、結果を並べ
0:13:58	この一番右側のところに、書類セキを下回る。
0:14:02	0 通に加えて、右側に上限値という列を追記して
0:14:10	この上限値と超力を下回る時間の関係性をプロットしたものが、右側のグラフに書いているものになっておりまして、
0:14:19	縦軸が、
0:14:20	上限値
0:14:21	軸は、処理時期を下回る時間になった
0:14:25	こちらの相関と、また、上限値については、
0:14:29	その平均値と標準偏差を足しまして、
0:14:33	そのプロットがどれぐらいばらついていていうところをわかるようにしており
0:14:37	この地形モデルごと、
0:14:41	その結論はこの考察が何がいえるかっていうところを、51 ページ側の右下のテキストのところ、
0:14:50	まず一つ目のポチですが、
0:14:53	組み合わせ評価における処理でき下回る時間の上限値
0:14:57	等、調理時期を下回る時間については、明確な相関が見られる
0:15:01	ところおき
0:15:03	相関があるっていうのが、
0:15:05	右上堅田上りに同じような、
0:15:08	そういったような相関はない
0:15:10	ところを、
0:15:12	続いて二つ目のポチで、この上限値
0:15:15	については、多少のばらつきは有しているものの、概ね一定の範囲、平均値±はンシング
0:15:21	に分布して、
0:15:24	なお、注意セキを下回る時期

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:26	最大ケース
0:15:28	についてもその波源の上限値
0:15:30	がこの±ワンシグマ
0:15:32	に対して、
0:15:33	その範囲内で分布しておりますので、
0:15:36	代表性を有して
0:15:38	特殊の波源ではないと
0:15:39	ところも確認
0:15:42	以上より、この上限値については多少のばらつきは有しているものの、 ポンプの取水可能時間 7680 秒と比較すると、
0:15:50	センミヨウ付近で、
0:15:52	短く波源によらず同程度
0:15:55	1 回デジタル値を見ていくと多少のばらつきがあるんですけども、
0:15:59	大きい意味合いとしては同程度にみなせるというような記載をして
0:16:05	そこからの結論がページ飛びまして、55 ページになり
0:16:17	と 55 ページでは、加古川の波源選定の妥当性のまとめのページになっており
0:16:24	このまとめの項目の下のところ、テキストボックス中の下側になるんですが波源選定の妥当性のところの二つ目のポチというところで、先に説明したことの繰り返しになるんですが、
0:16:35	この上限値っていうのは波源によらず同程度ですので、この最大ケースとして上限値に近い波源が選定
0:16:42	ありますので、波源として妥当波源センター
0:16:45	ような記載を追記
0:16:47	していましたが、
0:16:50	駆け足ですが修正箇所としては、
0:16:52	説明は以上と。
0:16:59	はい、谷です。説明ありがとうございました。
0:17:02	確認に移りたいんですけど、
0:17:06	全体的な話とかも、全体的に
0:17:11	確認もあるんですけど、
0:17:13	せっかくなので今説明いただいた。
0:17:17	ところから確認していきたいと思います。
0:17:21	34 ページ 35 ページっていうのが、
0:17:29	ここで今ここで言わなきゃいけないのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:32	あれですよ、上限深さと。
0:17:35	波源位置、
0:17:37	のパラスタの順番を、
0:17:40	入れ替えても、
0:17:41	入れ替えてもというか、今の順番で正しくて、
0:17:45	それは逆に言うと入れ替えてもその影響ないんですよってというようなことかと思うんですけども。
0:17:51	何かですね。
0:17:53	何かその肝心な部分が、どう考えたらそうなるのかっていうのが、
0:18:03	いまいちね何か文章で、わかりにくくて、
0:18:06	34 ページでコウなんか、ここがコウん上院深さが、平均値が上がってる原因っていうのはこれなんだと
0:18:14	あそこわかりました。
0:18:17	この 278 秒と黄色
0:18:20	はわかり
0:18:22	なんだけど、
0:18:24	これはイレギュラーなもん。
0:18:27	だから、平均値としては、
0:18:29	外していいんですっていう、その辺がねなんかねうまく
0:18:33	僕は
0:18:35	須藤。
0:18:36	てなくて、例えばねもうもう、もう何か
0:18:41	ストレートに聞くと、
0:18:43	これ上縁深さを先にやった場合は変わるんですかその波源位置と上縁深さ、パラスタを逆の順番でやったら値は変わってしまうんですか。
0:18:56	それは見てない。
0:18:59	藤北海道電力の青木です。
0:19:02	江藤城ステップ 3 で今は現位置の検討やっておりましてそう、その先に城エイファスやったらどうなるかっていうところなんですけれど、そちらについては今、解析そういった順番でやってないので、
0:19:13	明確な答えは持ってない
0:19:15	ところが正確。
0:19:16	を担っておりま

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:17	それに対する我々の答えっていうところで、そもそももう、この上縁深さとかは現地っていうところは葉系に大きな影響を与えるものではないと。
0:19:26	ところなので順番を変えたとしても、大きな
0:19:29	有意な変更点はないんじゃないのかっていうところを記載させていた
0:19:33	ところになっ
0:20:13	は井谷です。
0:20:14	なんかね言わんとしてることは、あれなんだけど、結局だから入れ替えたらどうなるんですかっていうと、
0:20:21	何か今の説明でわかりにくくて、だからこれ、イレギュラーなんだけれども、
0:20:29	何か、
0:20:31	分析はできまして、この分析をし、した上で、
0:20:35	これはこの順番でいいですよっていう、その部分をね、
0:20:39	何かわかりやすく説明してもらえたらなっていうふうに思ったんだけど、そのイレギュラーな部分を外して、平均値取ってクラベて、
0:20:48	これでいいんですっていう説明は、何かいまいちわかりにくいなと思いましたけど何かこう、
0:20:56	追加で説明することがあれば、
0:21:01	聞きますけど、特にないです
0:21:10	北海道電力の青木です。
0:21:12	ちょっと現時点でどうまとめればいいのかっていうところをはっきりとお答えできないところがありますので、
0:21:19	コメントを踏まえまして、どのような考え方なのかっていうところを考えたいと。
0:22:01	既設の名倉です。
0:22:04	これ本当に素朴な疑問ですけど 34 ページ 35 ページにしても、
0:22:10	断層所なんとなにこれ。
0:22:15	これ。
0:22:16	違う違う。
0:22:17	断層。うん断層面上縁深さか、ごめん。
0:22:21	断層面上縁深さを
0:22:26	深くすると、
0:22:28	なんで、
0:22:32	大南%かわかんないけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:34	下降側の振幅値が大きくなるんだろう。
0:22:37	34 ページの、それから 35 ページも、
0:22:41	この小さい短周期のところのコヤマが何で、
0:22:47	断層面上縁深さを深くすると、
0:22:54	下降側に、
0:22:57	これ動くんだろうか。
0:22:59	何かこう、すいません断層面上縁深さ
0:23:03	を浅くする等、
0:23:05	振幅値がどっかは形大きくなるっていうのは何。そう。そうずっとイメージとしては一致するんだけど、
0:23:12	なんで。
0:23:14	そもそも論としてここら辺が、
0:23:17	うん。ちょっとなんか、あれって、
0:23:25	結局それがどういう原因なのか。
0:23:29	ちょっと突き詰めて、
0:23:30	わかるかどうかわかんないけど、
0:23:33	うん。そうすると波源位置と、
0:23:37	その原因が何かっていうのがもう仮にわかったとすると、それが波源位置、
0:23:44	変えること。
0:23:46	等関係がない。
0:23:49	かどうかってのわかるかもしれないんだけど、ちょっとなんかねここら辺が、何でってそもそもあって、
0:23:56	ちょっと何かわか理解で理解しにくいなあって思いました。
0:24:03	北海道電力の青木です。
0:24:05	ちょっといただいたコメントで事実こちらからの確認にもなってしまうんですが、
0:24:10	35 ページで記載しておりますこの短周期の波っていうところにフォーカスして、0 キロから 5 キロにした場合にどういう傾向、どういう理屈で、
0:24:21	下がっているのかとか、変動が大きくなってるのかっていうところが見えてくると、波源位置とか
0:24:28	っていう趣旨なのか、それとも、いやこの短周期じゃなくて、全体として振幅が大きくなる。
0:24:38	藤丹式だけではなくてオオキ波としてっていう意味合いで、この上縁深さと萩

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:44	アノ質問質問で返されても、逆にわかんないんだけど、私が単に言ってるのは疑問として、
0:24:51	逆センスですよ。
0:24:53	断層面上、断層面の上縁深さが、
0:24:57	深くなればなるほど、
0:24:59	普通は振幅値って、上下合わせて、
0:25:04	変動幅ってのは小さくなるんじゃないかなって。
0:25:10	思うんだけど、そそうはなってないわけですね。
0:25:14	その原因が何ですか。そうするとそれが波源。
0:25:19	それより前にやってる波源位置の、
0:25:22	パラメータスタディに影響するか否かっていうのは、原因がわかればわかるかもしれませんがねと私言っただけであって、
0:25:30	それについてどういう意味ですかって聞かれても私もわかりません。
0:25:34	まずは、何でこうなってるのかってこと自体が理解できないから、それを除外することはなかなか、
0:25:41	原因がわかんないから、それが、じゃあこの順番に対して相関性があるか否かってのはそれはわかんないよねって。
0:25:51	ということかもしれないですね。
0:25:53	だからすみません、
0:25:55	これ、
0:25:56	波がこういうふう違うということは、パラメータの違いによって何がどう違うのかっていうことは見たんだけど、
0:26:05	これが何これが原因って言ってんだけど、そもそも事実を言ってるだけであって原因は何も言ってないわけですね。だから、
0:26:12	これをじゃあはげがこう違うからこうですよってというのは、事実としては理解できたけど原因は全くわからんというのが今の状況。
0:26:22	ですね。
0:26:25	北海道電力の青木です。
0:26:27	すみません質問で返してしまって申し訳ございません。
0:26:30	藤委員、先ほど名倉さんの説明していただいたことを踏まえまして、今は形を見てそうなるなってないってところは記載できているところで
0:26:41	上縁が使えると、はげがどうしてそうなるのかっていうような、根本的な分析ってところが足りないのかなと思う
0:26:48	た。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:49	現時点でわかるところっていうところで、上縁深さ不変化させた場合には初期水位っていうところが明確に違うところが見え
0:26:57	その初期水位から、この発電所に行くまでの過程で、どういう変化するのかっていうところもここが分析できるかどうかっていうところはやってみないとわからないところですがその辺りのアプローチかけて、何か分析できないかっていうところを検討
0:27:13	と、以上で、
0:27:22	ちょ、ちょっとねこれはね、考え方の話としてですよ、このはげ1っていうのを、
0:27:29	はまあまあ、
0:27:30	二つしかパラメーターないのであれなんですけど、どういう場合においても、例えば上限深さが不可かろうが浅香ろうが、これはもうそんなにこう、
0:27:40	変わるようなもんじゃないですよ。
0:27:42	だから、これを順番変えたとしてもこうなんですよねっていうような、
0:27:47	その辺のね、何か、
0:27:49	もう少しわかりやすい、まずは、北海道電力の主張としては、詳細パラスタを概略パラスタの後にある、これはもう、
0:27:59	こういう順番でいいんだ
0:28:00	そこのさらに細かいところとして、こういうところは、考えてるんですよっていう部分を
0:28:06	ない今のこの分析は多分、
0:28:10	ここまでとかにし、わかりました横野は形としてこういう違いがあるんだっていうところまでわかりました。これは、
0:28:17	原因とかは、確かにコウはわかりません。だからハケとしてはこうなりますよ。
0:28:23	で、だけどこういう発見を見るにつけ、
0:28:27	これ、変えてもね、
0:28:29	順番帰ったときにこういうことが予想されて、それは影響ないんですよ、なのか、いやいや変えてみたら変わるんかもしれないっていう話なのか、そこをちょっとはっきり、
0:28:40	何か
0:28:42	あんまり
0:28:44	なんか難しい説明をするよりも、
0:28:47	何かそれをしっかりとわかりやすくババアノ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:52	書いて欲しいな。
0:28:53	思っていますけど、まあまあそれは、
0:28:56	ここで議論してもねってところなので、
0:29:01	今の状況わかりました。
0:29:05	規制庁の名倉ですちょっと確認ですけど、
0:29:08	これ結局、5 キロメートルを採用する理由としてここはパラメータ 2 人はこの結果としてこれ示してるっていう理解でよろしい。
0:29:21	2 キロか 5 キロかわかんない。
0:29:24	うん。
0:29:25	結局 5 キロ使ってるんじゃないの。
0:29:28	ちょっとそこら辺を教えてください。すみませんちょっと今日ケアの結果だけ、矢田で全体の流れがちょっと把握できていなくて、
0:29:37	パラメータスタディでここは結局何を採用したんですか、このパラメータスタディの結果から、
0:29:43	北海道電力の青木です
0:29:45	ちょっと説明漏れてまして、結論としましては、パラメータスタディで最大ケースを選ぶっていう観点と、変動幅選ぶってのはちょっと別の観点。
0:29:55	のまとめかなと。
0:29:57	最大ケースを選ぶっていうところに関しては、
0:30:00	34 ページの上縁深さの下側の表。
0:30:04	になりますが 0 から 5 キロパラスターした結果の一番大きくなる数字のものを採用してやっております、
0:30:12	今議論になっている②③地形で言いますと、防波堤損傷②の地形ですと上縁深さ 5 キロのものを一番右側に書いて
0:30:22	③地形については上縁深さ 2 キロのものを採用して、
0:30:27	最大ケースにしており
0:30:29	ただ変動幅を出すにあたっては、
0:30:32	このイレギュラーなケースを除いて整理しているっていうところのまとめになって
0:30:39	このイレギュラーなケースを除外して、このイレギュラーのケースってのは何ですか。
0:30:43	ちょっと言葉を省略するとわかんなくて、
0:30:47	当北海道電力のアオキ
0:30:50	等 35 ページの右下のところろの備考に書いておりますが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:55	防波堤損傷 02 については、上縁深さ 0 キロから 2 キロのケースをイレギュラーな
0:31:02	というふうに考えまして、残りの 3 キロから 5 キロを使って、
0:31:06	所変動幅出した結果が、
0:31:10	3、35 ページ左下の 17 秒になっており
0:31:14	また、
0:31:16	③地形で言いますと、イレギュラーで考えてるものは上縁深さ 0 キロのものと考えておりました残りの上 F31 キロから 5 キロを使って変動幅出した場合には、
0:31:27	左下の表で言う 5 秒になって、
0:31:30	行って
0:31:51	すみませんちょっと教えてください。この 1755 秒って一体何のことよくわかんなくてごめん。
0:31:58	教えてください。
0:32:00	北海道電力の青木です。
0:32:03	藤さん 14 ページ、ちょっとページ飛び飛びになって申し訳ないんですけど、
0:32:08	34 ページの、
0:32:10	下段の右下の黄色ハッチングのところについては、
0:32:13	686 秒が最大値最小値が 408 秒になっており、
0:32:19	この差分をとってくと、変動幅として 270
0:32:22	これが従来使ってたものに対しまして、
0:32:25	この 408 秒っていうものを、
0:32:28	この 0 キロのケース除いて整理すると。
0:32:31	最大値 686 秒ー。
0:32:33	そのこの、
0:32:35	その 0 キロ除いた 1 キロから 5 キロの最小値っていうところまで、
0:32:39	書いておりませんが、まずは 5 秒差っていうところで 681 秒なのですね。
0:32:44	ていうのを算出
0:32:50	規制庁名倉ですわかりましたけど、この
0:32:53	すみません、35 ページのこの左下の表がどう、
0:32:57	なるんですか。これがどういうふうに反映されるんですか
0:33:01	実際の評価の中に。
0:33:18	除いたやつの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:20	貯留堰を下回る時間の変動幅のイレギュラー町ノダ時の、
0:33:24	この値っていうのがどう全体の評価に反映されるんですか。
0:33:31	北海道電力の青木です。
0:33:33	衛藤。
0:33:35	全体の流れで言いますと 32 ページのところ、こちらが変動幅としての、基本的な考え方っていうところになっておりまして、
0:33:45	その中で波源 1 断層面上縁深さっていうところに関して補足したものが、
0:33:50	34 ページ 35 ページでまとめたものになっており
0:33:54	34 ページ 35 ページについては補足の位置付けかなと思っておりまして、35 ページとかでまとめたものが他の評価に、
0:34:04	はねるかっていうところはそういったところはなく、
0:34:07	説明の趣旨としては、波源位置上縁深さの順番でやるのが妥当ですよっていうところを、補強できるような資料という位置付けで、3430
0:34:17	を追加した次第になって
0:34:19	結論としては 30 の 35 の結果が、他の結果に影響するっていうところはないと
0:34:25	ており、
0:35:01	規制庁名倉です。わかったステップスリーとステップⅣの
0:35:06	このパラメータスタディの順番が、
0:35:10	要は後ろの方がへ、ばらつきの平均値が大きいから、
0:35:14	影響があるものから降っていて影響がないものに最終的に振るほうが、
0:35:20	パラメータの選定とさ適切と考えられるので、
0:35:23	それについてここんところは説明が必要になったので分析をしました。
0:35:29	ということなんだな。
0:35:33	でも最終的に選定しているものは、
0:35:40	そうですね影響が大きいとか選定してるから、
0:35:44	評価としては全然問題がないんだけど、パラメータスタディの順番として、
0:35:50	どうか。
0:35:51	ていう意味でいくと、
0:35:57	そうしたかった。
0:35:58	からこうしました。
0:36:06	うん。イレギュラー値としてって、
0:36:11	いえるものかどうかってよくわからないですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:11	藤。
0:37:12	次。
0:37:13	1 回いきます。
0:37:14	40 から 43 ページ
0:37:16	がそのあと説明あり。
0:37:18	もう、
0:37:22	特に前回ヒアリングで確認してよくわかんなかったのがこの 42 ページ 43 ページのこの関係だったんだけど、
0:37:29	例を示して、
0:37:34	うん。こういう考え方で、その各地形モデルに対して、
0:37:39	は、検討対象の波源が決まるんだよっていう、
0:37:42	その説明はね一応わかるようになったかなというふうに、
0:37:46	思ってるので、
0:37:49	ちょっと細かい話はちょっと置いといて、この資料は、
0:37:53	少しわかりやすくなった。
0:37:56	で、
0:37:57	次 47 ページ以降の、
0:38:00	話かな、40。
0:38:03	上限値の分析を 50 ページ以降やったと。
0:38:08	ということなんですけど。
0:38:10	なんかね結局これもね行き最後言ってることが、
0:38:17	なんかこう、ちょっと、
0:38:20	わからなかったんですね。
0:38:30	特にだから言いたいこととしては、そもそもこの波源としては、
0:38:35	こういう上限値が大きくなるようなものが組み合わさってるかというところ こは言えないと。
0:38:40	よく言えないというか分析してないきつとそうなんだろうけど、それはまあ まあももつともつと言えないと。で、今、今使ってる波源だけで、ちょっとこ う関係を整理してみましたよと。
0:38:51	関係整理したんですよね。そしたら、どうやら上限値が高いものが必ず しもここ大きくなるわけではないよと。
0:39:00	ということまでわかりました。
0:39:04	それで、
0:39:07	北海道電力としては、
0:39:10	結局なんか上限値自体は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:12	それほど、
0:39:14	取水可能時間の 7680 秒と比較すると、
0:39:18	そんなに変わったようなもんじゃないんだっていう、最後のここ、何か説明が何か乱暴かなと思ったんだけども、
0:39:31	こういうデータもつけながら、最終的な 40
0:39:37	妥当性確認とかいうことを説明していきますよということですね。
0:39:48	少しこれはよく考えてみます今の説明も、
0:39:53	今日今日説明があったところ、それで僕の方は、一応、説明を聞いたんですけれども、
0:40:00	全体の話に移って
0:40:02	何かありますさっきの、今回追加された資料で、
0:40:07	ここは確認しておきたいとかいうところ
0:40:10	またあとであれば、
0:40:15	でですね僕の方の、
0:40:18	結局、
0:40:21	結局妥当性妥当性というのは、
0:40:25	全部、何か
0:40:27	どこで整理しているんですか。
0:40:30	OK、これが、この波源選定が妥当なんですよっていう。
0:40:35	1 枚で説明するとしたらどれなんですか。
0:40:54	北海道電力の青木です。
0:40:56	藤説明の概要のところになってしまいますが、結論で今 12 ページのところ、
0:41:02	妥当性確認として一番重要なところと考えて
0:41:07	具体的にはこの 12 ページで、どのようなこと言ってるかっていうところで、
0:41:11	まず位相の変動を考慮すると。
0:41:15	派遣センター
0:41:16	この二つを
0:41:24	なんです。
0:41:28	何か妥当性確認として確認したことはこうなんですよっていうのは、確かにそういう資料になってるんですけど、結局何か北海道電力としてはそもそもね。
0:41:38	妥当性確認というか、評価、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:42	この妥当性確認というのは何の妥当性確認かちょっとはつきりはして欲しいんだけど、評価全体の妥当性の説明をするには、
0:41:51	まず、適切な波源で組み合わせていますよだとか、もっと前段のところとかも含めて、
0:41:58	思ってるんじゃないです。それに対して、妥当性をこういう観点でも確認してこういう観点でも確認したと。
0:42:07	何か
0:42:09	ここは妥当性確認をしたところの項目だけがこう入ってて、結局、北海道電力としてこれで評価としてはいいんだっていう港南風全体のね。
0:42:19	説明を、
0:42:21	どっかコウ加えたらわかりやすいのになと思いましたんで、
0:42:27	一応確認していきますけど。
0:42:29	そもそも組み合わせる波源っていうのが、
0:42:33	あれですよね普通だったら下降側だけを組み合わせましたとか、そういうことを他のサイトでやってるような事例あると思うんですけど、北海道電力の場合は、下降側に不
0:42:44	下降側で選ばれたものに加えて、さらに上昇側でも振幅が大きいものは個つく、使ったんですよ。だから、波源選定のところでは、
0:42:54	そもそも網羅的なことをやっているこれは何か強調するようなことなんですかそそうでもなくてそれを普通にやってるようなもんなんですか。
0:43:05	北海道電力の青木です。
0:43:08	先ほど妥当性っていうところで説明したところで波源選定の方法については、
0:43:14	説明のありました通り、他サイトを踏まえても加古川については加古川の地震津波のチャンピオンケースを対象に組み合わせをやったと。
0:43:21	それに加えてっていうところで保守的になるような考え方も踏まえて、変動量大きい波源を対象に組み合わせ評価やって加古川のチャンピオンケースを
0:43:31	というところが、当社の考えてるところになっており、
0:43:34	以上で、
0:43:36	うん、だからそれが、
0:43:38	その波源選定の妥当性、波源選定をした結果のだけは、
0:43:43	評価結果の妥当性とかじゃなくって、今回来波源の選定全部を含めて、評価の妥当性っていうのを説明して欲しいんだけど、
0:43:52	その

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:53	結果を見たこの結果の妥当性みたいな感じに僕は受け取ってしまってるんですけども、そもそも北海道電力としてはこういう選び方をしてるから、この評価は適切なんだ
0:44:05	それに加えて出てきた評価としては、こういう妥当性の確認をしているっていうこの後者の部分がこの 12 ページに入ってるのかなというふうに思ったんですけども。
0:44:14	その辺をなんか、
0:44:15	根井。
0:44:17	じゃないと何かなんかよく、
0:44:22	やってみた結果は、ちゃんと重なってましたとか、やってみた結果のその波源を見ると、
0:44:29	上限値に近いんですっていうだけの高評価にこう見えてしまっていて、
0:44:35	何かその辺の
0:44:39	何の妥当性なんだろうとか。
0:44:42	思って、
0:44:43	これだけで本当に妥当性の話ができるんかなっていうのは、
0:44:47	疑問に思ったので、今、考えを聞いたというところです。
0:45:07	北海道、
0:45:13	藤北海道電力竹田でございます 13 ページに、ちょっと書き切れてないところがあるんですけども結局 12 ページの考えで妥当性はチェックしたんですけど、
0:45:24	その前に、今まさに谷さんがおっしゃったように、
0:45:28	下限を頭下げの最大ケース等に加えて、さらに
0:45:34	うちの特殊性から、
0:45:38	水位変動が大きい波源は振幅が大きいということをもって、水位変動量の大きい波源として、上昇側のものも加えて、まず選んできたというような趣旨を、
0:45:48	もう少し 13 ページに加えてきて、我々のやり方が妥当だったということをもう少し明示できるように、資料、また
0:45:58	うん。はい、谷です。
0:46:00	それはあれですねその波源の選定に、の時点で、例えば、泊発電所の特徴とかを踏まえて、そういうことをやったとかそういうことなんですかね。
0:46:10	何か
0:46:11	何を、何をこう考えてそういうことをやってるのかっていうのも何か、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:19	出張したいところは主張してもらってそこから新審議議論かなと思って るっていただけなんですけど、その辺を明確にしてくださいね。
0:46:28	北海道電力、竹田でございますそういった趣旨で全体のパッケージどう いうふうに展開しますかっていうところを、
0:46:35	4面のところに、
0:46:38	入れさせていただいて、
0:46:40	経緯は別としましても、
0:46:43	波源選定の方法はこういうふうに来てきて結果こういうふうにやりまし たってところを書いてるんですけどこれを受ける形で、まとめの方を 少し変えた方が良くかなと思っていて、
0:46:54	まずその選定の方法としても、火口の最大ケースに加えて4世良の真 ん中ら辺の波源選定方法のところですけども、
0:47:03	最大ケースかコガ波源01に加えて、こういったことが知見としてあるの では現02を加えてやりますというところを駆けまして、その選んできて まずそこで10分大きいものを選んできて、
0:47:17	そして出たものについてこういうことをやってきた。
0:47:20	と、やりまして書いてあるんですけど、結局まとめとしてはそれらを やることによって我々この選定方法が、
0:47:27	網羅的にできてますと、選定方法自体選んできた波源選び方、結果含 めてこのプロセスが妥当だったというようなまとめ方で最後13位にまと めたいと思い
0:47:47	入ったんです。
0:47:48	そういうことで主張したいことができるベッショできるんだったらそうして もらったらなということで、
0:47:55	間に合う限りでお願いし
0:47:57	です、ちょっとこう読んでいって、何かわかりにくいなって思ってるよ うなところが、やっぱり幾つかあって、ちょっとその辺
0:48:07	もうどういことですかねっていうのを確認していきながらいきたいんで すけど、4ページなんですけれども、
0:48:26	経営方針があって次は元の選定方法ですね。
0:48:32	波源の選定方法。
0:48:38	って何ですかねってこうちょっとなんかタイトルで気になったんだけど、
0:48:43	派遣の選定方法というのは、この下の①と②を選びます。
0:48:51	これが方法か。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:53	検討対象波源 0102 を用いて、パラスタした結果からケースを選定する。
0:49:02	ていうの Kou は年
0:49:04	何評価方法なのか。
0:49:06	何、何か派遣は下組み合わせる波源の選定方法なのか。
0:49:11	結果の選定方法なのか。
0:49:16	それとも検討方法なのか。
0:49:19	ちょっと何かこの辺が、
0:49:20	一緒になってて、
0:49:25	いや僕聞きたかったのが、これ評価方法って、どっかに詳しく書いてあるんかなとか、ちょっとそれを聞き、聞きたかったんですけども。
0:49:35	これでもタダ、
0:49:37	5 秒ピッチでパラスタしたんですよってこれだけなんですかね、アノ殿。
0:49:42	何だった。
0:49:43	何か上昇側でもっと丁寧に説明していたことっていうのは今も残ってるんですか。ちょっとその辺か
0:50:33	僕が聞きたいのがこの正確なやり方ってどっかに資料として残ってるんですか。
0:50:38	ていうところなんですけど、例えば、いやいや今回の資料についてないけど、上昇側と同じなんですよって言うんだったら上昇側、
0:50:46	の高校、ここに書いてますよっていうのを Kou、
0:50:49	入れてくれたらいいですよ。
0:50:51	北海道電力の青木です
0:50:55	衛藤氏。
0:50:56	具体的な方法、一応補足説明資料の、
0:50:59	54 ページ。
0:51:02	に記載しております、
0:51:10	そうですね、B-1 の組み合わせ評価は、こういった考え方なので、
0:51:14	その辺りわかるようなと
0:51:19	B-1 以外については 5 秒ピッチでやってるっていうところもありますので、その辺り、ちょっと今、単純に 5 秒ピッチっていう前なので、メインのところだけ書いてるので、
0:51:30	そこら辺、この形で、
0:51:34	入りたいと思い

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:35	方法をここで書こうと思ったら、やっぱりこの程度しか書けないし、そこに正確さがどこどこまで正確に書けてるかっていうと少し疑問だなと思って、こういう話をしてるんですね。
0:51:47	その辺はちょっと、どっかで説明していただいたいと思いますし、私の高野いを持ってやるやり方ができてるんだと思うんですけども、
0:51:58	それが今の資料では確認できないという状況なので、そこはお願いしますね。
0:52:05	波源の選定結果のこの分なんかね文章がねえ。
0:52:10	何かいまいちこう、
0:52:12	何でわかりにくいのかというと、いきなり
0:52:19	例えば矢羽根、ここ何か文章をもうちょっと考えてくれたらいいと思うんですけどね。
0:52:23	一つ目の矢羽根は、長くなる位相で重なっているから長くなる。
0:52:29	ソウノ波源が選定できているっていう、何か
0:52:34	何でこんな言い回しをするのかなって。
0:52:38	思ってた、長くなる移送の波源が各選定できているっていうのを言いたいんですかね。
0:52:47	それはちょっとこれは、
0:52:49	何とかだから何とかですっていう高校分が何なんなんでこんな説明なのかなってちょっと思ったのと、
0:52:56	でやってることはわかりましたんで、いきなりここでね二つ目の矢羽根から上限値っていうのが出てきて、
0:53:02	上限値ってここで使うんだったらどっかでこう、ちゃんと説明して欲しいなど。
0:53:09	私は聞いてるから一応上限値っていうのは、
0:53:12	わかるんですけど、
0:53:13	なんかね上限値っていうコウ、
0:53:16	もう間に合わないからいいんですけどこういうこう独り歩きするような言葉をこう使うっていうのは、
0:53:24	気をつけた方がいい、いいかなと思ってますけど。
0:53:28	その辺はちょっと、
0:53:30	考えて、今後考えてもらったらな。
0:53:35	でですね、次いきまして8ページが僕なんかこれもうこれこのページなんか大事なページだと僕は思ってるんですねその特徴を。
0:53:45	第2は檀第4アノ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:52	一方で、
0:53:54	ここで何を言いたいんですかって言って、
0:53:57	このページを見ると、何か前回の資料から、
0:54:02	ちょっと左下の子資格が変わってって、変わってるのかな。
0:54:08	最後、以上より、
0:54:11	第 2 はと第 4 版の引き波に定義される。
0:54:14	時間は、いずれの波源においても、25 分を上回ることがない。
0:54:20	これ言いたいんでしたっけっていう。
0:54:22	むしろ、多分この 1 個前の二つ目のマルを何か主張したかったっていうふうな印象では、私は思ってたんですけど、これ何か異常よりってしてしまうと、
0:54:32	何か言いたいことは、主題はこの一番下のことなんですよって言ってて、25 分を上回ることはないって言われても、そのあとで最後出てきてるのは、
0:54:43	800 秒とかの話とどう関係あるんですかねとか、ちょっと思ったりするんですよ。
0:54:49	8 ページです。
0:54:52	うん。
0:54:54	この辺なんですけど、ここで主張したいことって何なんです、これ。
0:55:13	北海道電力の青木です。
0:55:15	当間こちらで説明している、このスライドとしての一番の趣旨っていうところは、
0:55:21	左下のテキストボックスの二つ目のポチの、
0:55:24	波源位置ずらした場合においても、2 ハタ 4 版の間に大きな変更が生じないっていうところがこのスライドで一応
0:55:31	になっており、
0:55:32	一方、資料全体としてこれをどう使っていくかっていうところの
0:55:37	結果の先取りっていう形に早うはの間を上回る時間がないっていうところを、
0:55:42	セキしてしまっってこの時点で説明すべき事項かというところを踏まえて、この記載の適正化図っていく。
0:55:49	以上です。うん。
0:55:51	そうなんだと思うんだよね。そう。そう。多分 2 は 4 はの時間は大きな変化は生じない。
0:55:59	ただ 1 で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:06	うん。
0:57:07	なんか、
0:57:08	上がわかるようにというのと、名倉、
0:57:11	行政官おっしゃるようにこの 25 分っていうのをここで強調して、何になるんですかっていうのはちょっと私も似たような、
0:57:26	すごく目立つ。
0:57:29	でね。
0:57:32	前回言ったんですけどこのね、8 ページの絵ってね、僕さらっと言ってこれわかりにくいですよっていう、チラッと行ったんですけど。
0:57:39	なんかねこの絵はね、
0:57:41	多分こう、
0:57:42	知らないヒトミた誤解招きますよこれ。
0:57:46	第 2 は第 4 はの伝播経路を説明しているんですけども、これって、
0:57:52	そもそも波源のコウ発生位置、
0:57:55	日本海島縁部の発生位置から来たものは全部一波が到達してくる中で、
0:58:00	反射として 2 ハタ 4 は生まれるっていう話なんですよ。
0:58:04	じゃないんですつけ。
0:58:06	これ何か。
0:58:07	はい。もともとの波源からの第一波が来た後に第 2 は起きて第 4 ハダ来て、その
0:58:13	そのあとの波の伝わり方が違うんですみたいな公園になってるんで、何かこれ正確じゃないですねって言ったつもりなんですけれども。
0:58:22	だから、これ多分積丹半島の手前までは、第一波という太い線か何かで書いて、
0:58:28	反射はなんですよっていうのが、
0:58:32	じゃないのかなこのオレンジは、その辺がわかるように
0:58:37	してもらいたいんですけど、それは何か。
0:58:40	言ってることはわかりますけど、ちゃんと
0:58:43	になってないな。
0:58:45	いうのと、
0:58:47	すいませんね。
0:58:50	何か文句ばかり言ってるようで、
0:58:52	丸井であとね左下のね。
0:58:54	コメントボックスの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:56	一つ目の丸ってこれ、何か日本語正しいのかなってというのが、
0:59:03	聞ききになったのは、第 2 はポツ
0:59:07	第 4、それぞれの発生時間に約 25 分の差が発生する。
0:59:13	という言葉が、
0:59:15	何かね。
0:59:17	それぞれの発生時間、
0:59:19	発生時刻、
0:59:21	というのが、
0:59:24	第 2 は、第 2 はと第四課ってそれぞれの発生時刻、
0:59:30	が、
0:59:31	アンドなんですよ。第 2 ハタ 1 ポツ、第
0:59:36	もちょっとこう、
0:59:42	二つあって、1、
0:59:44	第 2 はのそれぞれの、
0:59:46	第 2 版のそれ。
0:59:48	第 2 はの発生時間に、
0:59:51	25 分の差が
0:59:53	第 4 はの発生時間にも 25 分の差
0:59:56	みたいな
0:59:57	うん。ちょっとしたコウ。
1:00:13	なんかね、このページは多分結構大事なページだと思うので、
1:00:28	上の四角はあれだね。
1:00:31	発電所へ到達するとか言ってるのね、伝播する
1:00:36	到達すると伝播するって何が違う
1:00:44	使い分けてな。
1:00:45	で、それ到達する伝播をする、そして発生するって言葉が、見三つ なんか出てきちゃってて、
1:00:53	何か、
1:00:58	ちょっとこの辺の技術的な話じゃないと思うので、
1:01:01	よく、
1:01:04	技術的に伝えようとして、ちょっと技術屋さんが書いたものをちょっとこう ちゃんとした文章になってるかっていうのは、
1:01:12	確認をお願い
1:01:13	いうところを言いたい。
1:01:15	ですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:17	これ言いたいことは何か、私は一応わかっ。
1:01:21	他は、今までの説明でわかっ、
1:01:29	あとはね 10 ペイジー
1:01:41	これね、検討対象の波源はどこにあるんですかっていう一覧表にね、飛ばして欲しいんですよ。
1:01:48	これ結局この検討対象波源①と②っていうのは、
1:01:53	どこ見たら一覧表があるんですか、これ。
1:01:57	何か出てこないですよ。ここでほら、
1:02:04	飯野加古の概要だからいいんだっていう話、38 から 44 ページに書いてるんですよっていうことです。
1:02:15	一覧表はどこにあるってぐらいは効果書いて欲しいんだけど、Dで 10 ページの右下で、検討対象波源、②の、
1:02:25	具体例はって書いてて、
1:02:32	具体例なのかな、43 ページ
1:02:40	具体例というのは地形③を
1:02:43	例にして説明しているってことですか。
1:02:47	北海道電力の青木です。
1:02:49	10 ページのところの、下降側については検討対象波源少ないので、具体的な例っていうところで、
1:02:57	2 の評価項目等四つの地形の八つの禿げ
1:03:01	してるところになっており、
1:03:03	一方、上昇側の検討対象波源②って言っているものを、ちょっとケース数が多くて、概要に書くのは適していないというふうに考えまして具体例というところで 42 ページ
1:03:14	に飛ばしたところになっており
1:03:17	42 ページ 43 ページの方の中で、
1:03:21	これ③地形、
1:03:24	地形モデル全部呉ひつくるめて、
1:03:27	書いてるんですけども、じゃあ他、どの地形でどの波源やってるのかっていうところをさらに、
1:03:32	具体例っていうのは③を書いて
1:03:34	そういった構成になって
1:03:36	意図としてはそういった趣旨で、
1:03:42	はい。
1:03:44	結局、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:46	選定される。
1:03:48	ここの、ここで言っている検討対象波源を一覧にしたものがどこにあるかという、40 ページと 41 ページってことですかね。
1:03:58	北海道電力の青木です。
1:04:00	そういった認識でやっております。少しフォーマット変わっておりますが、
1:04:05	最終的に 40 ページ 41 ページの形になるものと考えております。それはね多分ここでちゃんと飛ばさないと。
1:04:12	だと思いますよ 10 ページで、
1:04:19	一体どれ組み合わせたんですかってこうなりますね、これではね。
1:04:50	で、11 ページが波源の選定結果っていう波源っていうのは、
1:04:57	なんのは、
1:04:59	チャンピオンケースの派遣ですね。
1:05:01	コガ。
1:05:10	それは 10 ページと一緒になのか、波源の選定方法波源の選定結果、そういうことでいいのか
1:05:17	検討対象波源と言葉は使い分けている。
1:05:21	うん。
1:05:23	で、
1:05:26	波源の選定結果組み合わせ評価における最大ケースはということで説明している。
1:05:31	組み合わせ評価の最大ケース。
1:05:34	うん。わかります。
1:05:35	で、
1:05:36	猫の妥当性確認を実施するっていうのをちょっともうちょっと丁寧に、何の妥当性なんですかっていうのを
1:05:47	書いてもらおうといいかなと思いまし
1:05:51	で、
1:05:54	12 ページなんですけど、
1:05:57	はねこの青文字のところかねやっぱりちょっとこう、
1:06:02	何か、
1:06:09	よくわからなくて、
1:06:12	何でわからないのかっていうのがコウ。
1:06:20	江藤。ここの波源の、ここのこの右側のケースのことを今説明してるんですよね。
1:06:27	右側のケースはチャンピオンケース。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:31	に選ばれたものが、
1:06:33	この、この剥げの上限値を、
1:06:36	上回ることはないって言ってるんですよね。
1:06:39	で、
1:06:40	衛藤。
1:06:46	そもそも上限値って波源によってこう、
1:06:49	違うわけですよね検討対象波源によってそれぞれ違うんですよね。
1:06:54	だけども、上限値を上回る、
1:07:02	上限値に近い波源が選定できている
1:07:05	っていうこの、
1:07:06	全体の中での、これの位置付けっていうのがやっぱりなんかねコウもや つとしてわかんないですよね。で、やっぱり、
1:07:14	波源ごとに上限値が違って、
1:07:17	その上限値に近い値になってる。
1:07:21	わけではない。
1:07:24	ですよね。多分小高すそ全体の話と個別の話っていうのが、
1:07:30	何かうまくこう、
1:07:31	頭に入ってこなくてっていうことで、
1:07:37	ここは個別の話をしているだけです。
1:07:42	北海道電力の青木です。12 ページのアオキの妥当性のところの一つ目 の矢羽根については、個別の話というところで具体的には、処理時期を 下回る時間の最大径
1:07:52	この対し、この波源だけに対しては、
1:07:55	衛藤。
1:07:57	磯ずらしても、
1:07:58	上限値に近い値になって
1:08:00	ところで、
1:08:02	二つ目の矢羽根については、個別の波源ではなくて、波源全体として考 えた場合に、上限値に近いは
1:08:11	選ばれているというところ
1:08:26	なんかそこをねはっきりわかるように書いて欲しいんですけど、もう続け ても確認する間待ったからね。
1:08:33	高良上限値を波源によらず同程度だったですよってさっきの 50 ページ かなんかで説明し、何ページ。
1:08:40	50 ページかなんかで説明したことですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:43	波源によらず同程度だから、
1:08:46	最大ケースとして上限値に近い波源が選定できている。
1:08:53	ってどういう意味なのかな。
1:08:57	上限値を波源によりと言わず、同程度なんだけど、
1:09:04	最大ケースとして、
1:09:06	上限値、
1:09:08	近い波源が選定できている。
1:09:12	これ、これもうちょっと何か文章分解して、僕にもわかるように伝えてもらっていいです。
1:09:18	北海道電力のアオキ
1:09:20	等、
1:09:22	この経緯にもなってしまうんですけど、単純に上限値に近い波源が選ばれているっていうところの記載ですと、
1:09:30	上限値を上げによってばらついてて上限値の最大ケースを選んだわけ
1:09:35	いうところがありましてちょっと、
1:09:37	くどいというか遠回しの言い回しになってしまってるんですが、
1:09:41	北回り時間自体がその上限値、ていうのが、波源全体の上限値に対して、
1:09:49	大きくなってるというところを説明したかったところになっ
1:09:54	てその前提というところで上限値っていうのが波源によらず同程度
1:09:58	例えばちょっと例なんですけど、仮にセンミヨウっていうような
1:10:03	上限値っていうのがあまり、
1:10:05	ばらつきなくて一定であればそのセンミヨウに近い波源が選ばれていれば、
1:10:09	調理イシマル時間がセンミヨウ近ければ、源泉程度だと、というようなそういう表現したかったところになっております。
1:10:16	ちょっとそのあたり今耐えきれないような文章なの
1:10:20	をコウに関して記載の適正化を図る必要があるのかなとか。
1:10:43	うん。何かもう少し確認すると、
1:10:47	はげによらず同程度っていうのは少しか、
1:10:54	少しちょっと何か無理がありそうな気はするけれども、7680 秒と、
1:11:00	比較すると同程度、
1:11:03	ですよ。
1:11:05	次の貯留堰を下回る時間の最大ケースとして、
1:11:11	上限値に近い波源が選定できていることを確認。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:16	できた。
1:11:18	ていうので、何の話をして
1:11:23	当北海道電力の青木です。
1:11:25	ここで説明したいところについては、税全体のはゲインがある。
1:11:31	いろいろな波源がある中で、その中で、一定の上限値に近い禿げ
1:11:37	のさえ
1:11:38	として処理できた0時間の最大ケースの波源が選ばれているというところで、端的に言うと全体の波源の中で、下回る時間が大きくなる波源を選ばれているというところを説明したかったところになって
1:11:59	ここちょっとね、大事なところなんだと思うので、
1:12:03	何、何でこんなにいねえ。頑張って検討して、
1:12:08	やってて、言いたいことが全然こう、
1:12:10	よくわからんという、
1:12:14	でもなんか、
1:12:17	今回ここに12ページにある波源っていうのは、
1:12:20	全体の波源からしても、
1:12:28	全体、
1:12:29	脳波元からしても大きいほう下の小さななのかという、大して変わんないんですよ。
1:12:35	解体して構わない中で、
1:12:38	その中での上限值に近い値が最終的な値となっているから、
1:12:49	波源選定が妥当なのかなあ。
1:12:52	なんか、ちょっとそこが、
1:12:55	まだ僕は
1:12:57	理解できてないというか、何か、
1:12:59	論理が飛躍しているような気がちょっとしてたりするので、1回伝えたことを言葉に
1:13:05	書き下してもらったらいいな。
1:13:08	思います。
1:13:28	で、一つ目の矢羽根を引っかかって寝込ん
1:13:31	上限。
1:13:32	これ以上長くなることはない。
1:13:39	上限値に近いから、
1:13:41	これ以上を長くなることはないっていう。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:50	この、この、この組み合わせを幾らずらしても、そうはならないよっていう話なんですか、これ。
1:14:00	北海道電力の
1:14:02	一つ目の矢羽根については貯留堰を下回る時間の最大ケースについてはその位相の変動を考慮したとしても、
1:14:10	調理適した時間が長く、
1:14:12	個別の波源に対してイソベ変動ずらしても大きな額、
1:14:18	岩瀬
1:15:04	私だから審査を、
1:15:05	これをし、
1:15:07	しなきゃいけないんですけども、これが本当に、
1:15:10	長くことなることがないことを、私の能力では確認できそうになくなって、
1:15:17	どうやったら確認できるのかがわからない。
1:15:21	北海道電力の青木です。記載としてこれ以上長くなることはないっていうところは、当然そのエビデンスが必要になってくるということで、現状この上限値に近いのでそのエビデンスを示している。
1:15:34	ていうのを我々考えているところですけど。
1:15:36	それだけでは十分じゃないような見方もあるっていうような意見を踏まえてこの辺りの記載の適正化を図っていきたいと考え
1:15:43	以上で、
1:16:10	ちょっとこの件についてお聞きしたかったのは、
1:16:12	陸上地すべり川白の下降側第一波と下降側第3%の振幅値の大きさがちょっとわからないんですけどこれがどれぐらいなんですか。
1:16:42	規制庁名倉です。
1:16:43	これが例えばですよ。4メートルであれば、ほぼ4メートルであれば、
1:16:49	線形足し合わせでしかわからないけれども、
1:16:53	自然形成が入ると、足し合わせでどうなるかっていうのはわからないんですけど、線形足し合わせで、
1:17:00	コガ-4メートルぐらいであれば、0メートルのところのクロス点のところ、上の地震に伴う津波、
1:17:08	これと-4メートルがピークが重なり合う
1:17:12	ところ。
1:17:13	やっど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:15	貯留堰の天端に到達するので、やっぱり上限時期時間っていうことは、線形足し合わせの概念の中で考える上では上限なんですね、ほぼ上限と考えられるんですよ。
1:17:30	だからちょっとそういう意味で、すいません、私が言ってることをそのまま文章書いてんのかもしないけど、よく考えてください下降側の第一波の振幅値とかコガ第サンプの振幅値がどれぐらいかっていうのをちゃんと、
1:17:43	数字で押さえておいた上で、足し算をし、先月足合わせしたら、0上野地震に伴う津波の0黒須店がどれぐらいの水位になるのかって、
1:17:55	ていうのを線形足し合わせて吐き出し合わせれば、そうそうなりますっていうのはわかるわけですよ。
1:18:02	ただこれが、同一波動場でやったらどうなるかっていうのは、そこは、
1:18:06	確認をしてみないと私もわかりませんけれども、
1:18:10	ちょっと何かそういった説明を本来すべきじゃないかなっていうふうにちょっと思いましたけど。
1:18:16	確定的に上限値であるっていうことは言えないけれどもほぼ上限と考えられるっていうことは、いえるのかなっていう形をしたんですけど、それが何ですかって言われたときにどう答えるか。
1:18:27	なんですよ。そのためには数値を押さえておかないと答えられない。
1:18:32	うん。
1:18:44	当北海道電力の青木です。
1:18:46	この資料でさ、上限値ってもう断定してしまってるんですがその過程の中で、
1:18:52	加古川の1%3羽とかが読めた程度に対して、一律4メートル下がった場合とか、いうところでまた線形足し合わせ、その4メートル一律下がったって線形足し合わせの概念での上限値っていうところ。
1:19:06	2、相当に上限値相当っていうようなところになってますので、厳密に言うとな上限値ではないというところかなと思っており
1:19:14	その辺り記載の適正化を図って、わかりやすくなるようにしたいと
1:19:19	以上で、
1:20:16	はい。ちょっとその辺お願いします。
1:20:18	あとはねえ。猫の移送の変動を考慮したとしてもとかってこう書いてるけど、これちょっと何かわからないんですよ今となってはねこれ多分、波源位置を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:30	波源位置を東西方向に動かすなどのとか、そういうことが多分いるんだと思うんです。これ多分、
1:20:38	今までの経緯が分かってない。
1:20:42	議論してない方から見ると、とても
1:20:46	わかりにくい。
1:20:48	で、もう1点は、
1:20:50	今回、
1:20:53	加古川の
1:20:55	コウ時間の取り方を変えましたということで、
1:20:59	要するに地震に伴う津波のところまで戻って評価をしましたと、いうことなんですけれども、
1:21:07	これが、
1:21:10	自明といえば自明なんですけど日本海島縁部だけ。
1:21:15	戻ってるんですよね。
1:21:17	他の波源他の断層による波源だとか、
1:21:21	例えば、個別でいうと高度地すべりだとか、
1:21:26	そういうのに対して、
1:21:30	古川がこの、この
1:21:35	この時間っていうのを1個1個出さなくて登園分だけを出せばいいんだよってということで、この資料が進んでいくわけなんですけど、その最初の入口のところはね、
1:21:46	評価を変えても、こうこうだから日本海島縁部だけを見ればいいっていうのを、
1:21:53	ちょっといるんじゃないかなと思ってますんで、それはあるよね他の。
1:21:58	例えば地震でいうと、4メートルを下がらない。
1:22:02	でしたっけ、4メートル以下になんないんでしたっけ。
1:22:04	その辺のちょっとファクトを入れながら、
1:22:10	うん。
1:22:11	ちゃんと説明してもらった方が
1:22:15	当北海道電力の青木です。
1:22:18	そちらについても対応したいと考えております。
1:22:22	経緯というところもありまして、組み合わせ評価やる前提というところで、
1:22:28	これまでの会合の中で、
1:22:30	貯留堰を下回る時間変更後の評価項目で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:33	昔パレスを考慮した時間とかの評価結果に基づいて、日本海島縁部
1:22:38	とか陸上地すべりカワハラっていうのを選んだ
1:22:41	それを対象に組み合わせ評価やってきてるっていうところの経緯が
1:22:44	ころになって
1:22:45	Matter谷さん説明された谷さんおっしゃってた通り、
1:22:49	日本海島縁部っていうのは下降量ものすごく大きい
1:22:53	それを選ぶっていうところLower妥当であると考えておまして、
1:22:57	それ以外の津波が、そもそも、
1:23:01	この加古川の評価項目を変えたことによってどういう影響があるのかと か、そのあたり、実際は下回る時間が
1:23:08	発生しないはげがほとんどなので影響しないので、
1:23:12	日本海等Mとか川白選ぶのが妥当だっていうところがわかるようなところ でどこか記載考えたいと。
1:23:21	うん。変えたんです。僕が言ってるのは多分自明なことを言ってるんだ けど、本来の評価、最初からこれが、
1:23:28	評価項目に上がるんだとしたら、
1:23:31	すべての禿げに対して1回こう出しながら、
1:23:35	チャンピオンを選んでっていうプロセスがあったはずなんですよね。
1:23:39	で、今は戻ってきて、日本海島縁部以外は4メートルなんか候補。
1:23:45	下回さないだろうと。
1:23:47	いう前提で
1:23:49	話が進んでいくっていうのは、ちょっと
1:23:54	ね説明が足りていないかなというところなので、別にその大々的な説明 があるわけじゃないともうどっかにこう、こういう考え方なんですよという のがわかるようにして欲しいと
1:24:06	いうところで、
1:24:10	規制庁名倉です。
1:24:12	ちょっと私ものすごい違和感を覚えたのは50ページのところ、
1:24:19	これ確かに私言いましたけど、
1:24:22	これ私の言ってることを指定するための、
1:24:27	結果を出されたんだけどこれやると。
1:24:29	次みずからやってることを否定してることになるかもしれませんよ。
1:24:34	上限時間等、
1:24:37	上限値等、
1:24:39	下回る時間の相関性はない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:43	ようなこれ結論出してますよね。
1:24:47	相関性がないんだったら何でそんな上限値なんて概念持ち出すの。
1:25:03	藤北海道電力の青木です。
1:25:06	ちょっと難しい考え方になってくることになるんですけど、この波源に対しての上限値っていうのは、
1:25:14	上限値相当っていうのは、いえるところかなと考え
1:25:19	例えば、50 ページの一番上の黄色 80721 秒この波源に対しての上限値ってのは、968 秒。
1:25:29	ていうところろうなのかなと考えております。ちょっと先ほどの議論を踏まえると、断定するのは、
1:25:35	あるんですけど、そそうと上限相当になるのかなと考え
1:25:40	ますが一方波源全体に対して、上限値と下回る時間っていうのが相関あるかっていうところについては、
1:25:48	もうこの整理してみたところ、ちょっと見えてきてこなかったっていうところを、
1:25:54	ておりました、全体の説明の中で、この説明があると。
1:25:58	資料全体としてのわかりやすさがあるかどうかってところを踏まえて
1:26:04	規制庁の名倉です。しかもこれって集合的、集合論的に言ったら、ボウタイ数というか、これは明らかに限定されてますよね。
1:26:15	ここでやってる代表的なケースだけで、
1:26:19	統計的な平均値ところ、平均値プラマイワンシグマ出してるんですけど、
1:26:24	私がちょっとお願いしたのは 28 ページのところ開いてもらいます。
1:26:31	ここでやってる前は形の中で、
1:26:34	別に統計的分析してもらわなくてもいいんだけど、
1:26:38	0 黒須店。
1:26:42	例えば、すみません。
1:26:44	私、これがちゃんと示せれば多分、ある程度、
1:26:50	うん。
1:26:51	ちゃんとやってるんだなってわかるよねって言ったのは、
1:26:54	12 ページのところの、
1:26:58	地震に伴う津波で下限側に転じる儒学上限側に転じる時刻、
1:27:04	の幅が広いもの。
1:27:08	これが最も広いものを、今までやってる全ケースの中から抽出してそれに対して線形足し合わせをして、
1:27:16	やったときに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:18	それが今やってるケースの中で一番でかいやつ超えませんか。
1:27:24	860 秒。
1:27:26	確か 2、ほぼ第 2 ハタ第 4 本の間って時間が一定してるんだけど 0 クロスポイントっていうのは、
1:27:33	おそらくは形によって大分こればらつきがあって、
1:27:39	特にちょっと気になってるのわあ、第 3 発第 4%の間、地震に伴う津波の、
1:27:46	ここにちょっとポツンと上に突き出てるやつ。
1:27:50	ここら辺がちょっと何か
1:27:53	割と暴れていて、
1:27:56	それちょっと気になっているのは、
1:28:00	下降側に転じる時刻上障害転じる時刻のこの
1:28:05	0 黒須店の
1:28:07	例えば、左側の方でいくと、
1:28:12	下降側に転じる時刻の
1:28:15	下側に、アノ行った時の最大値の 1 と、
1:28:19	等、
1:28:21	矢印赤振ってあるのかもしれないけど上障害転じる時刻の前の、
1:28:26	最大値の山。
1:28:28	この 1 の幅でほぼ決まってくるのかもしれない、
1:28:34	だからこういったところ下降側に展示六条障害テングウ時刻の幅が最大のものもしくはその
1:28:43	近くのピークの幅が最大のもの。
1:28:45	に対して、川白のやつは一定のは形なのでこれを足し合わせたとき 2、
1:28:55	例えば線形他社で他社したときにどれぐらいの時間になってるんですか。
1:28:59	これで明らかに 860 秒を超えるものなんかないですよ。
1:29:07	だから、
1:29:09	結局、そこに集約されちゃう、どんな上昇側、変動量が大きいケースを抽出してやったって言っても、
1:29:19	結局、最終的に決まるのは、
1:29:25	09 路線のハーバーとかその市近辺のピークの幅が広いもの。
1:29:32	に対して、
1:29:33	陸上地すべりをずらして重ね合わせたときにどれぐらいの時間になるかなので、結局、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:39	どんな波源かっていうところの分析はよくわかんないけど、
1:29:44	地震に伴う津波で幅が広いもの。
1:29:48	下降側のところの、
1:29:49	第 2 第 4%の上昇はの手前のところの幅が広いところが、
1:29:59	何を言おうと、それでほとんど決まってしまうような気がするんですけど、そういう確認はちゃんとしといた方がいいんじゃないですかっていう趣旨で話をしました。
1:30:13	だから統計的な分析で相関性って、本人言っちゃったのかも申しないけど相関性私全然気にしてなくて、
1:30:23	うん。
1:30:24	こういうことを見れば、図上限値
1:30:28	じゃないですけど、幅が広い。
1:30:31	ものっていうのは今、ある一定の時間にハタ第 2 アノ第 2 ハダ 4%の上昇が大ニワ第 4%の間の時間が 25 分とってんだけどばらつきがあるので、
1:30:42	そん中なるべく古い加工側の川白と足し合わせたときに、大きくなるような形を、
1:30:51	とにかく選んでみてそれでやってやっても大丈夫ですよっていう確認を、
1:30:56	しといた方がいいよっていう趣旨で、言いました。
1:31:02	そう。私はそれを示してもらえばじゃあ、もうほぼ、今や、少なくとも今やってる中では上限取られてるんですよ。
1:31:12	っていえるんじゃないかなと思ったんですけど。
1:31:14	粗相でもしないと多分、
1:31:17	25 分ぐらいでほぼ一定ですよってそこは理解してるんだけど、
1:31:22	結局並みの形で、ほぼ上限ってのは多分 900 とか、
1:31:27	そこら辺でほぼ上限なのかもしれないんだけど、
1:31:32	うん。ちょっと、
1:31:34	そのところは、
1:31:37	うん。
1:31:38	何か決め手がないですねっていう。
1:31:40	そういう感じがしました。
1:32:12	何かこう、説明性がわかるようなことができるんだったら検討してもらってもいいし、今の理屈はもうこれからそんなに変えれないと思うんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:24	ただね、ちょっと僕はもう少しね俯瞰的にこの、今、今の検討っていうのを見て欲しいんだけど、
1:32:32	じゃあ何なん。
1:32:33	なんで。
1:32:35	この保守
1:32:36	このスイテイカジ感というのは、なにになにもものなんですかというと、
1:32:41	今まで、
1:32:42	いやいや、何かパルスを考慮したとかかなんだとかやってみましたよと。
1:32:47	ただこれより保守的にやったんですよ。
1:32:50	戻ってる波なんか全部こう、無視してやってんです
1:32:53	実際はそんなことはないんだけど、
1:32:56	実際はこう戻ってるのみで、水ある程度回復するんだけどそこは保守的にすごくやってるんです
1:33:01	そういう主張はあるのかどうなのかわかんないすよ。
1:33:06	で、そんな中でこういうことをやっている。
1:33:08	さらに、
1:33:10	参考値ではあるけれども、
1:33:13	何でしたっけ、全部でいうと 7000 秒だとかそういう値とかもあって、
1:33:18	で、
1:33:18	その中でこういうことをやってい
1:33:21	一方で上限値っていうのは、こういうものが出てきました。
1:33:27	組み合わせは結構
1:33:30	綿密にやっていますなのかよくわかんないすけど、なんかねそういういろいろこうやってることっていうのを、
1:33:36	何か、
1:33:37	全体をもう少し俯瞰して最後のまとめっていうのを書いたら、
1:33:42	何かもう少しこう、
1:33:44	僕らは
1:33:46	値をどうしても込みなければいけない中で、
1:33:51	議論を、
1:33:53	するし、何かこう最後の行、結論にこうちょっと飛躍があったりするようなところは、かなり気になってはいるんですけども、そもそもこの下降側の評価って、どんなもんなんですかっていうのをもう 1 回ちょっと、
1:34:07	1 枚
1:34:09	妥当性って何ですかっていうの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:11	考えてもらったらなっていうのは思いました。
1:34:22	北海道電力の青木です
1:34:25	今、
1:34:27	20 ページのところに左下に加古川の評価の考え方っていうようなところ。
1:34:32	の概念図。
1:34:34	記載しております、
1:34:36	結局的に我々が一番最後言いたいところっていうのは、
1:34:41	容量に対して十分余裕があってその中の波源選定としては十分に最大ケースが選んでいるっていうところが主軸かなと思っておりますので、この考え方がもう少し、資料全体としてわかるような
1:34:54	かなっていうような、
1:34:56	そういった観点で主
1:35:45	すいません、規制庁の道口ですいません 47 条と 48 ページの、
1:35:49	すいません私の認識違いだったら教えていただきたいんですけど、
1:35:55	上限
1:35:56	値の決め方で、
1:35:58	ちょっと 48 ページの方。
1:36:00	が、
1:36:02	その上限値の決め方の図だと思うんですけど、
1:36:06	右の図で、
1:36:08	①の地震に伴う津波っていうところで、大体 TP0 メートルのところからの
1:36:15	下に転じるところの時間、
1:36:19	上限値にしているって書いてあって、その上に③組み合わせで、
1:36:26	この時刻歴は形は、でも、
1:36:30	地震に伴う津波を書いていて、
1:36:35	そこに貯留堰を下回る時間と同じ時間って書いてあるんですけど、
1:36:39	簡単に 47 ページのすみません、上の方見てその組み合わせ時間の青枠の方なんですけど、
1:36:47	下ではその貯留堰を下回る時間と、上限値が何か同じ時間って書かれてるように見えて、
1:36:54	でも 47 ページの方を見ると、
1:36:56	この上限値っていうのは、
1:36:59	地震に伴う津波と陸上地すべりを合わせて、
1:37:05	これが水位が 0 メートルより下コウノところの時間を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:12	すみませんなんかちょっと、
1:37:13	47 ページと 48 ページの、
1:37:17	何か上限値の設定の仕方みたいなところの、
1:37:20	見方をちょっと教えていただくと助かるんですが。
1:37:30	48 ページの方の組み合わせのところは、
1:37:38	はい。
1:37:44	うん。
1:37:54	やっぱり上限値は、地震に伴う
1:37:59	津波の方で、
1:38:01	まず時間を設定して、
1:38:04	はい、えっと、
1:38:05	そういう理解でいいです。基本的に、48 ページは上限値ってこういう概念ですよっていうのを、上限、上限値はこういう概念ですっていう説明をしている。
1:38:17	絵になってまして、はい。②の陸上地すべりかわしらは本当はジツウは形でコウ 4 メートルぐらいの
1:38:24	ものが 8 分周期ぐらいで繰り返し
1:38:27	ても、
1:38:27	そこを仮にコウ 4 メートル、母岩と一律だとマイナス 4 メートル一律できたとしたら、
1:38:34	栗城の地震の八景が 4 メートル下がる。
1:38:37	ていうところで、
1:38:38	下回る時間っていうところは、潮流セキとほぼ重なり、4 メートル一律だとすると、
1:38:44	ハウジョウでの、
1:38:45	セキの天端と重なるんで、一律、
1:38:49	使ってますよっていうのが③で、
1:38:52	で、
1:38:54	上限値っていうのを、
1:38:56	①で、0 黒須のところはちょうどそれが、
1:39:01	上限値になりますっていう定義を書いているのは 48 で、47 は、
1:39:06	時刻歴のじつは形で、
1:39:08	示すと、上限値がこうで実は形では次
1:39:12	セキを下回る時間がこういうふうになっていて上限値に近づい
1:39:16	よねっていうような場合に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:39:24	すいません、何が5か、誤解っていうか混乱を招いてるかって48ページのところで同じ時間としてるところが誤解がもうほとんど。
1:39:34	そこに集約してます。
1:39:36	地震に伴う津波から上限値を出したら、
1:39:39	それを組み合わせ時間の方に持って行って、
1:39:43	比較をしてますということなんですね。
1:39:46	同じ時間って書いてしまったら、
1:39:48	どっちからどう定義してるかってことがわかんなくなるので矢印の方向は少なくとも地震に伴う津波の方から、
1:39:56	算定したものの上限値を上と比較のところを持ってきましたっていうふうに泉しないといけないので、両方向で同じ時間ですと言ったら、なんでもな組み合わせと地震に伴う津波の0クロスポイントが同じになるんですか。
1:40:10	組み合わせ評価で一体評価したもの。
1:40:14	なんで同じ値になるんですかっていう疑問になってしまってで、
1:40:19	それと合わせて47ページを見ると、
1:40:22	これ。
1:40:23	どっちかが設定したのってわかりませんよねってなっちゃう。
1:40:27	だから質問したというのが真相です。
1:40:34	はい。
1:40:36	ありがとうございます。
1:40:38	よろしくお願いします。
1:40:50	規制庁の山下です。ちょっと質問ではないんですけども、ちょっと今47ページ目んとこへ出たのでこれ、
1:40:58	12ページ目のところとほとんど同じかなと思うんですが、
1:41:01	青柳、青文字のところの一つ目の矢羽根のところ、さっき谷さんとかもお話してたんですけど、
1:41:09	なかなかちょっと、
1:41:10	し、他のし、
1:41:12	本、文章とかも同じなんですけど、
1:41:15	結構、一つの文がすごく長く、
1:41:19	実はちょっと読むのは、何かいらんかなと思ってまして、先ほど谷さんが言った、この分解っていう言葉があったと思うんですけども、
1:41:28	カノウだったら、もうちょっと文章釘
1:41:32	ることが可能でしょうかっていう。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:36	ところなんですがいかがでしょうか。
1:41:42	藤北海道電力の青木です
1:41:44	改めて、いろいろ社内でもいろいろレビューした上で文章長いところとか わかりやすさの観点
1:41:52	いきたいと。
1:41:54	以上です。
1:41:55	ありがとうございます。よろしくお願いします。
1:42:11	既設の名倉です。
1:42:13	実はこの資料って、
1:42:18	もう私達見なれてしまっているところがあって、
1:42:22	感覚が麻痺してるところもあるんですけど、
1:42:27	文章長くても、
1:42:28	実、今まで解説しちゃってるから読んでいけちゃうんで、
1:42:33	そそん時に、
1:42:36	谷さんも多分そうなんだけど、
1:42:38	この文章って、
1:42:40	今まで聞いている話のイメージとちょっと違うな。
1:42:45	少し言葉がぶれがあるな。
1:42:47	でもこの言葉って多分、
1:42:50	自分は今まで聞いているから理解できるけど、
1:42:53	これ。
1:42:55	普通に、
1:42:56	初めて読んだ。
1:42:57	人には理解できない。
1:42:59	ぶれだな。
1:43:01	て思うところが、
1:43:03	複数にあってですね。
1:43:05	それをつなげて読んでいくと。
1:43:07	これかなり、
1:43:09	難易度が高い。
1:43:11	だからそういう意味で、
1:43:13	文章をもう少し区切って、
1:43:16	区切ると。
1:43:17	やっぱり言葉の定義の言葉のぶれというか表現のぶれ、用語の定義の ぶれ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:23	そういったものがより、
1:43:25	何ていうか目立ちやすくなるので、逆にそういうふうな潰しが利くんですね。
1:43:31	そういう意味でちょっと、
1:43:33	これは北海道電力の中で、
1:43:36	入社1年目2年目ぐらいの人で、
1:43:42	技術的なところをいろいろチェックしてる他の分野の人とかですね。
1:43:48	そういった人に、土木分野の人なんだけど、施設関係の人にちょっと見てもらうとか、
1:43:53	何かもしそういうふうなことをしてもらおうと。
1:43:56	これってわかりますかって言った時に、
1:44:01	正直に言ってもらって、少し、
1:44:04	資料を、
1:44:05	これは取りまとめ資料とかも含めてですけども、ちょっと精査してもらった方がいいのかな。
1:44:12	それでちょっと私たち、これを、
1:44:16	会合に持ち込む説明していく上でですね、やっぱり
1:44:21	核となる説明が、ある程度効果何ていうかな、網羅されて、
1:44:28	かつ、ある程度説明できる。もうこのページ見れば大体全体やってることだ結果がわかりますっていうところの、
1:44:36	決定版のところの部分ですね。
1:44:39	これが今散在しているので、少しそこところを、
1:44:44	入れていただけると、こちらもう少し対応しやすいかなと。
1:44:49	そうやっていただかなくても、多分谷さんとか私とか、この、この図は使えるぞっていう図を念頭に、
1:44:57	説明はするとは思んですけど、ただやっぱり決定的にここを見れば、全体の流れ、
1:45:04	それから小底の流れの中で構成している検討項目と、その
1:45:10	概要、
1:45:12	それから結果がどうなったのか。
1:45:14	というところ。
1:45:16	これがですね、ある程度、努めろ署名っていうか概要の中で、
1:45:21	わかるような、
1:45:24	形に今もそういうふうな努力はされてると思うんですけどより一層、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:29	そここのところの努力をしていただけたほうがいいかなというふうになんかちょっと 思っています。
1:45:34	ちょっとあの介護までも短いんですけど可能な範囲で、ここだけは抑える。
1:45:40	ていうところはちょっと、
1:45:41	箇所作っていただいてせ、整備していただければと思います。私から以上です。
1:45:55	はい。北海道電力の松村です。
1:45:59	津波に関して、
1:46:02	松波だけではないんですけど以前からいろいろこう概要バーン
1:46:06	の充実とか、全体のがわかるフローとか、いろいろ
1:46:11	コメントいただいて、今回もそういった意味での概要版とかは、
1:46:16	作成してきているつもりなんですけども今しがたもいろいろ、
1:46:21	コメントいただきましたけれども、
1:46:24	もう少し
1:46:27	ちゃんと核となるようなページを意識した作りとか、
1:46:33	あとはレビューとかを通してちょっと文言の適正化とか同じような、
1:46:38	同じ内容の言葉を複数使ったりとか、ちょっとそういうところも少し散見されておりますので、
1:46:46	改めてちょっとその辺ポイントを絞って、ちょっと短い時間ですけども整理させていただければと思います。ありがとうございます。
1:47:07	規制庁谷です。資料直されるところもあるということなんで、ここで例えば来週会合をすとしたらって話なんで
1:47:18	ありえますかね。
1:48:08	はい。
1:48:14	うん。こちらは今調整しているので、北海道電力の希望としては8日が入るんだとしたら、8日にして欲しいということで今、
1:48:23	わかりましたので、ちょっとこれから調整をしたいと思っておりますし、それに向けて資料の作成をね、
1:49:59	北海道電力から何かなければ、
1:50:03	ウェブWeb参加の方も特になければ、これでヒアリング終わりたいと思いますけどよろしいですか。
1:50:10	本店からも特にございません。
1:50:13	はいそれではヒアリングの方ありますどうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。